

センサ種類: CO2 - 温湿度センサ

型番: SCD30

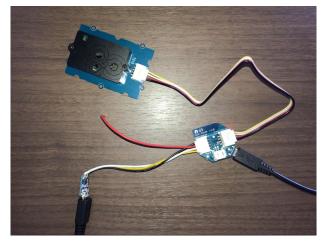
ストーリー: CO2値が所定値を超

えたらアラームを発報する



改訂記録:

2021/5/1 初版 作成 門奈



接続例

センサーに関する詳細情報はスイッチサイエンス又はSeeed社サイトをご参照願います

https://www.switch-science.com/catalog/7000/

https://www.seeedstudio.com/Grove-CO2-Temperature-Humidity-Sensor-SCD30-p-2911.html



1. Arduinoのプログラムの変更

ライブラリの読み込みとコードの変更箇所

ライブラリのダウンロードと読み込み

1. IDEのメニューからライブラリをダウンロードする

スケッチ→ライブラリーをインクルード→ライブラリーを管理→
→「SCD30」を入力
検索されたリストから「SparkFun SCD30 Arduino Library」を選択





- 1. 本SCD30用のスケッチをIDEへ読み込みWiFi設定を変更する
 - ・WiFiの SSID、パスワードを入力する
 - ・Azure IoThub で発行されたデバイスのプライマリ文字列を該当箇所に入力する
- 2. インターネットに接続されていれば、IDEのシリアルモニタでセンサのデータを確認することができます





Z.Stream Analyticsのクエリ変更



クエリの説明 ①

以下の内容をStreamanalyticsのクリエに書き込んでください

SELECT Dev as device, DATEADD(hour, 9, EventEnqueuedUtcTime) as time, params.sensor as sensor, params.espvalue as value, params.duration as duration INTO outputpowerbi **FROM** inputiothub TIMESTAMP BY EventEnqueuedUtcTime **SELECT** Dev as device, DATEADD(hour, 9, EventEnqueuedUtcTime) as time, params.sensor as sensor, params.espvalue as value, params.duration as duration INTO outputcosmosdb **FROM** inputiothub TIMESTAMP BY EventEnqueuedUtcTime

クエリの説明②

受信したデータの内容(例)



受信データ

'outputcosmosdb' の 50 行を表示しています。

device	time	sensor	value
"monna01"	"2021-01-30T21:09:43.6500000Z"	"CO2"	1768
"monna01"	"2021-01-30T21:09:43.7900000Z"	"temp"	21.56014
"monna01"	"2021-01-30T21:09:43.9780000Z"	"humi"	45.00228
"monna01"	"2021-01-30T21:09:49.1870000Z"	"CO2"	1768
"monna01"	"2021-01-30T21:09:49.4210000Z"	"temp"	21.54557
"monna01"	"2021-01-30T21:09:49.6410000Z"	"humi"	45,2594
"monna01"	"2021-01-30T21:09:54.8300000Z"	"CO2"	1765
"monna01"	"2021-01-30T21:09:55.0640000Z"	"temp"	21.57079
"monna01"	"2021-01-30T21:09:55.2520000Z"	"humi"	45.48754
st th			

StreamAnalyticsで変換されたデータ





3. PowerBIでのレポートの作成

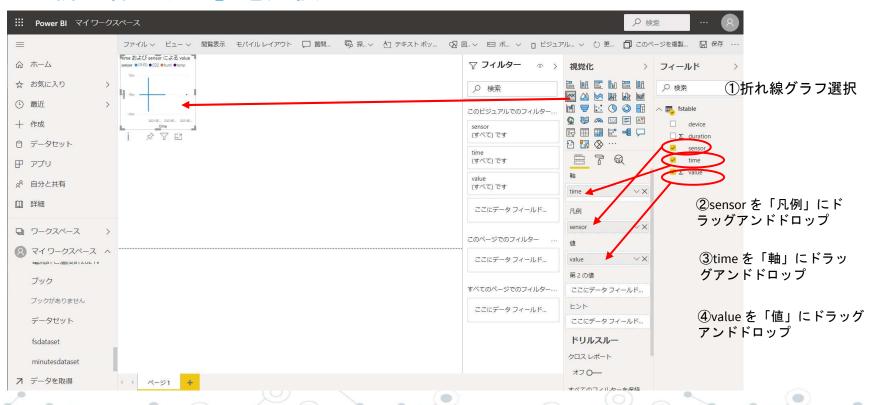
測定値をモニタする



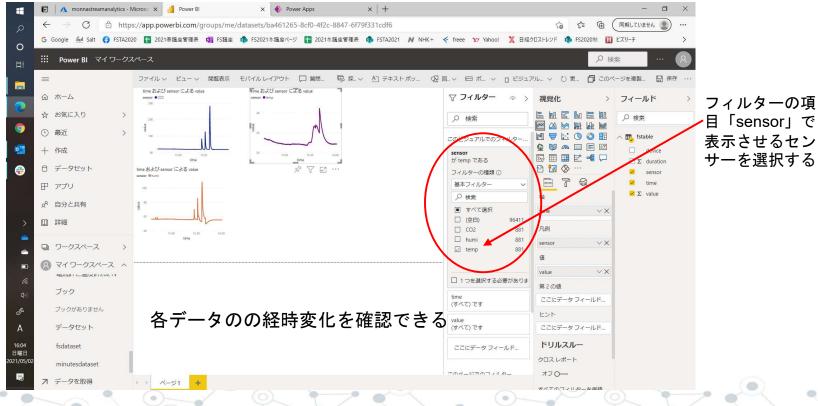
データセットを開く



「折れ線グラフ」を選択



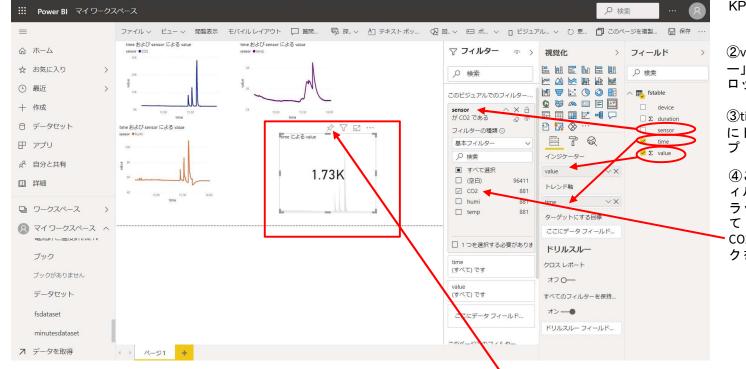
「折れ線グラフ」を選択



4.CO2濃度が所定値よりも高くなったらアラームを発報する

閾値よりも数値が大きくなった 場合に通知を送る

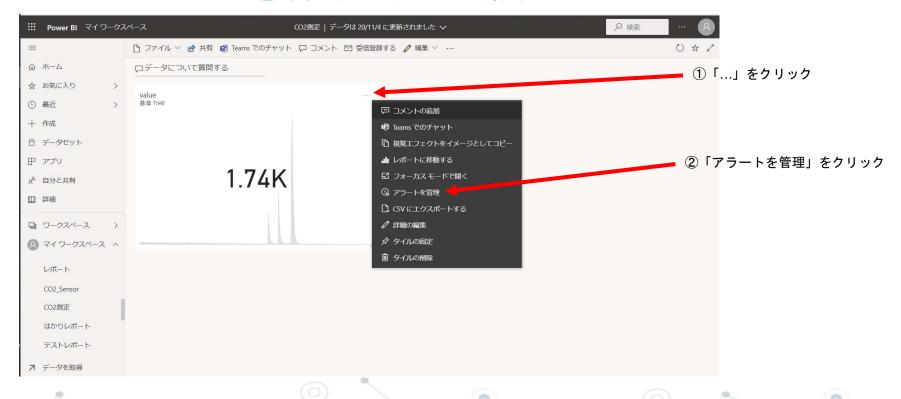
KPIを設定



- ①「可視化」メニューの KPIを選択
- ②value を「インジケーター」にドラッグアンドドロップ
- ③time を「トレンド軸」 にドラッグアンドドロッ プ
- ④このビジュアルでのフィルターに「sensor」をドラッグアンドドロップして
 CO2のデバイスIDにチェックを入れる

⑤KPI を任意のダッシュボードにピン留めする

ダッシュボードを確認、アラートの設定



ダッシュボードでのアラートの設定

